

事業所名

コロニー児童デイサービスみやぎ

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		沖縄コロニーは、結核回復者が結成した「沖縄療友会」が当法人の前身であり、利用者第一優先を基本理念に、時代のニーズに合わせて、障害者福祉、高齢者福祉、児童福祉に取り組んできました。これからも、「利用者のしあわせ」「職員のしあわせ」「地域社会のしあわせ」の3つのしあわせの実現を目指して、福祉と医療の連携を図り、新しい福祉の創造に挑戦します。							
支援方針		①児童が明るく楽しく過ごせるよう、居心地の良い場所づくりを目指します。 ②発達支援や療育的活動（遊び、運動等）を通して、児童の成長・発達を促せるよう、支援計画に沿って支援します。 ③保護者が抱える育児不安や育児負担を軽減し、保護者が安心して子育てを行えるよう支援します。							
営業時間		平日	12 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		学校休日 祝祭日	9 時	30 分から	18 時	30 分まで			
支 援 内 容									
		項 目				ね ら い			
本人支援	健康・生活	・身辺自立(食事・整容・排泄・着替え)の支援・日々の健康チェック ・季節の行事を楽しむ(感じる) ・おやつ作り				個々の成長に合わせ身辺自立の習得を目標にスモールステップで支援します。本人の「できた」の成功体験から次の目標への意欲に繋がるようサポートします。			
	運動・感覚	・体操、ダンス、リズムあそび ・サーキットリレー、手指訓練 ・感覚あそび(スライム・粘土等)、制作活動				・音楽を通して体を思い切り動かし、健康的な体力向上の支援。 ・指先の加圧の力、手首の安定を高める。 ・感覚特性を把握し、個々の「たのしい」から「もっとあそびたい」の探求心を高めていけるよう支援します。			
	認知・行動	・近隣散歩 ・カード遊び、マッチング、パズル				・散歩にて危険認知を学び、交通ルールを習得していきます。 ・「観察力」「集中力」を育み、指示されたものと同じ物をゆっくり観察し見つける事をねらいとします。			
	言語 コミュニケーション	・絵本、紙芝居の読み聞かせ ・口腔体操、言葉あそび、うた ・ソーシャルスキルトレーニング				・想像力や感性を育てる。(集中力、言語能力の向上) ・食べる、飲み込む、話す機能を保つために、唇や舌、口周りの筋肉を動かす練習を遊びの中に取り入れます。 ・ロールプレイングやゲームを通し、困った場面での解決方法を練習していきます。			
	人間関係 社会性	・かくれんぼ、だるまさんがころんだ等の集団あそび ・お手伝い等の役割分担(会の司会やテーブル拭き等) ・バス・モノレール乗車体験等、公共施設体験				・他者との関わりが苦手なお子さんへの支援として、2,3人からの遊びから集団あそびにつながるよう支援。 お友達との「たのしかった」の共有経験ができるようアプローチします。 ・自律へむけた役割を本人と一緒に考え、意思決定をもとに人間関係・社会性を学びます。			
家族支援		・保護者会(ゆんたく会)・長期休み(春休み、夏休み、冬休み)の給食提供 ・きょうだい参加の夏祭りや親子レク ・子育て時の不安や悩みごとへの対応				移行支援		学校、就労先、学童との連携を図り、必要に応じて訪問し情報を共有します。	
地域支援・地域連携		・定期的なクリーン活動を行い、近隣の方々との交流づくり ・地域イベントへ参加(当事業所以外の児童との交流) ・近隣事業所との合同イベントの計画(ハロウィン等)				職員の質の向上		定期的な研修を開催。毎日のミーティングにて日々の支援を振り返り、効果的な支援について具体的に話し合い、実践に反映できるよう努めていきます。	
主な行事等		クリスマス会、親子レク、七夕、ハロウィン、マイクロバスに乗っての外出支援(水族館・ビオスの丘等)買物支援、外食体験、遠足(動物園、工場見学等) 消防署見学・交通安全教室、じゃがいも掘り体験、水遊び(プール)							

※本人支援については、『健康・生活』『運動・感覚』『認知・行動』『言語・コミュニケーション』『人間関係・社会性』の5領域を重複して実施する支援プログラムもあります。
詳細は、別紙をご覧ください。